

## 総合計画市民検討協議会 第8回報告書（都市基盤・産業部会）

<b>記録者</b>	曾田、山田、吉岡	<b>場所</b>	市役所北庁舎第 1～3 会議室	
<b>開催日時</b>	平成24年5月26日（土） 午前9時30分～正午			
<b>出席者 (10名)</b>	明石 光子	足立 和代	市川 純一	大室 元
	森田 敏雄	山田 和夫	山田 政明	
	曾田 昇吾	山田 敦	吉岡 知洋	
<b>傍聴者</b>	なし			

<b>基本目標</b>	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	1 計画的な土地利用の推進
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<p>◆みんなが情報共有できた計画的な土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地や大規模な土地の利用について、市民みんなが情報を共有できている。</li> </ul> <p>◆交通関係機関の連携がとれた移動のしやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道やバスの乗り継ぎがスムーズにできている。</li> <li>・日本人だけでなく、外国人でもスムーズに移動をすることができている。</li> </ul> <p>◆防災機能を備えたまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が発生した時に、誰もが迅速に行動することができている。</li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<p>○土地利用への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模な土地利用が共同住宅になりやすいため、店舗・オフィス・工場・保育所などの施設を誘致。</li> <li>・土地の細分化や建物の密集化を防ぐための仕組みづくり。</li> <li>・市民の意見をまちづくりに反映できるシステムの推進。</li> <li>・基地跡地などの大規模な空地の進捗状況等の情報発信。</li> </ul> <p>○鉄道会社とバス会社との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅間の乗り換えの利便性の向上。</li> <li>・ちゅうバスの路線を増やすなど、公共交通の利便性の向上。</li> </ul> <p>○防災に配慮した土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築後長年経過した建築物は危険なため、解体などまで考慮した建築計画となるような仕組みづくり。</li> <li>・防災対策の充実を図るため、計画的防災施設の設置。</li> </ul>	

## 役割分担の考え方

### 【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

《市民》

- ・植栽の維持・管理などのボランティア活動を積極的に行う。
- ・住みよいまちづくりのため、みんなで目標を共有し、意識を高める。
- ・大規模な土地の利用が共同住宅になりやすいため、店舗・オフィス・工場・保育所などの施設の誘致を目指して主体的に情報を得るよう努め、意見を出し合う。
- ・土地の細分化や建物の密集化を防ぐための仕組みづくりができるよう意見を出し合う。
- ・まちづくりに対しての提案を積極的に行う。
- ・基地跡地などの大規模な空地について積極的に意見を出し合う。

《事業者》

- ・住みよいまちづくりのため、目標を共有し、意識を高める。
- ・大規模な土地利用が共同住宅になりやすいため、府中市の独自性を高める店舗・オフィス・工場・保育所などの施設を設置する。
- ・鉄道駅間の乗り換えの利便性の向上を図る。
- ・ちゅうバスの路線を増やすなど、公共交通の利便性の向上を図る。

### 【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・市民・事業者・他機関との連携を図る。
- ・情報を市の内外に広く発信する。
- ・ボランティア活動への支援、良好な景観形成に貢献する建造物等への補助等を行う。
- ・大規模な土地利用については、市民への情報提供を迅速に行い、店舗・オフィス・工場・保育所などの施設を誘致する。
- ・市民の意向に沿ったまちづくりを行えるよう、土地の細分化や建物の密集化を防ぐための仕組みづくりを行う。
- ・市民の意見をまちづくりに反映できるシステムの構築を進める。
- ・基地跡地などの大規模な未利用地の進捗状況等について、広く周知を行い、市民が積極的に土地利用の検討に参加できるような仕組みづくりを行う。

### その他 提案事項

- ・アンケート調査について、もっと幅広く実施できないのか。また、府中市民の中でも初めから府中に住んでいる人と途中から住んでいる人とでアンケートを分けるなどアンケート項目を細やかにしてほしい。
- ・総合計画の施策指標が分かりにくいものがあるので分かりやすく示してほしい。
- ・総合計画やマスタープランなどの施策について市民に向けて情報発信して市民と共有すべきである。

### 事務局への連絡事項

特になし

<b>基本目標</b>	Ⅳ にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	2 景観の保全と形成
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆けやき並木における景観の保全と創出</li> <li>◆自然資源（府中崖線、多摩川など）の保全と周知</li> <li>◆史跡及び歴史的建造物等を生かした景観形成の保全と周知</li> <li>◆道路沿道の賑いを連続させ安心な景観の創出</li> <li>◆桜並木通りにおける景観の保全と整備</li> <li>◆市街地・商業・自然資源の調和のとれた景観の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外を問わず、多くの人が府中市の景観を知っている。</li> <li>・旧甲州街道や品川街道などの歴史的な街道を活かした景観づくりが行われている。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆景観の保全と形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>○けやき並木における景観の保全と創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき並木と建築物との調和。</li> <li>・商業施設の誘致による賑いのある景観の創出。</li> <li>・人と人とのにぎわいを活性化させる。</li> </ul> </li> <li>○自然資源（府中崖線、多摩川など）の保全と周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画の基本理念について市民が意識を共有する。</li> <li>・府中の観光資源の保全とアピール。</li> <li>・市街地と自然資源との調和。</li> </ul> </li> <li>○史跡の保全と周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡巡りなど行事を市民だけではなく、市外へ広くアピールする。</li> <li>・史跡の位置を分かりやすくする。</li> <li>・古民家や宿場町の町並みなど文化的な景観の保全をする。</li> </ul> </li> <li>○道路の利用及び安心な景観の確保について <ul style="list-style-type: none"> <li>・高架下の土地利用や防犯対策を景観的視点で計画をする。</li> <li>・かぜのみちやかえで通りのような安全な自転車通行の確保された景観の創出。</li> </ul> </li> <li>○桜並木通りの景観と整備について <ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき並木の保全と同等の配慮をする。</li> </ul> </li> <li>○市街地・商業・自然資源の調和のとれた景観の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画の基本理念を市民で共有する。</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施設について、歴史を配慮した整備をしてほしい。</li> <li>・市民に植樹ボランティアの派遣などを行い市の景観を保全する。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

<b>役割分担の考え方</b>	
<b>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽の維持・管理などのボランティア活動を積極的に行う。</li> <li>・ 住みよいまちづくりのため、みんなで目標を共有し、意識を高める。</li> <li>・ NPO やボランティア活動を通じて、府中市の魅力的な景観の保全と市外への周知を図る。</li> </ul>	
<b>【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・事業者・他機関との連携を図る。</li> <li>・ 情報を市の内外に広く発信する。</li> <li>・ ボランティア活動への支援、良好な景観形成に貢献する建造物等への補助等を行う。</li> </ul>	
<b>その他 提案事項</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査について、もっと幅広く実施できないのか。また、府中市民の中でも初めから府中に住んでいる人と途中から住んでいる人とでアンケートを分けるなどアンケート項目を細やかにしてほしい。</li> <li>・ 総合計画の施策指標が分かりにくいものがあるので分かりやすく示してほしい。</li> <li>・ 総合計画やマスタープランなどの施策について、市民に向けて情報発信して市民と共有すべきである。</li> </ul>	
<b>事務局への連絡事項</b>	特になし

<b>基本目標</b>	Ⅳ にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	3 まちの整備
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 誰もが安心して住めて、魅力のあるまち</li> <li>◆ 古くから住む人と、新しくきた人が共に語り、ふれ合うまち</li> <li>◆ 市外から見ても、歴史、文化、産業の魅力の満ちあふれたまち</li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<p>○ 駅周辺における、商業によるにぎわいの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が多い駅（分倍河原、北府中、武蔵野台、白糸台など）にも関わらず、商業施設などのにぎわいが不足している。</li> <li>・ 府中駅は活気があるが、町田駅、八王子駅、立川駅等と比べると、にぎわいが不足している。</li> </ul> <p>○ 既存の文化・歴史を活かしたまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も、市の魅力を知らない。</li> <li>・ 観光で訪れた人に対して、交通機関（駅、バス停）から、観光資源までの経路が分かりにくい。</li> </ul>	

- ・市の各部署における、市の魅力を創出するための施策が不足している。

○新たな商業・文化を活かしたまちづくりの推進

- ・市内外の人にとって、魅力のある施設が不足している。
- ・あらたな文化の創出及び活用したまちづくりができていない。

○民間建築計画の適切な誘導

- ・文化的な資産に対して、意匠や形態への配慮がされている建築物が少ない。
- ・中高層建築物の、ビル風対策が不足している。
- ・低層住宅に比べ、中高層の建築物が増えすぎている。
- ・農地の宅地化の進展に伴い、中高層建築物が増えることが想定される。

○まちづくりにおける市民意識の啓発

- ・まちづくりに関する、自発的な学習、検討、提案する体制ができていない。

○あらたなごみ収集に係る、適切なまち並みの確保

- ・ごみの戸別収集化に伴い、沿道のごみが目立つようになった。

## 役割分担の考え方

### 【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

#### 《住民》

- ・まちづくりへの意識を高め、市民同士や、企業及び行政との連携を図る。
- ・住みよいまちづくりのため、みんなで目標を共有し、意識を高める。
- ・府中市の魅力を再学習、再発見する。
- ・府中市の情報を発信していくことで、魅力を伝えていく。
- ・公共施設や民間施設（競馬場など）を利用して、市民がまちづくりについて語りあう。
- ・狭あい道路などでは、一定の住戸が集団でゴミ置場をつくり、集約化に協力する。

#### 《事業者》

- ・まちづくりへの意識を高め、企業同士や、市民及び行政との連携を図る。
- ・住みよいまちづくりのため、目標を共有し、意識を高める。
- ・交通拠点（駅、バス停、交差点）、観光資産、商業施設のネットワーク化を図り、サイン表示を行う。また、主要駅間の商業的ネットワーク化を促進する。
- ・カフェの充実など、人が自然と集う施設を積極的に展開する。
- ・府中にゆかりのある顕著な人物（浦沢直樹氏など）と協力し、漫画、アニメ、小説などのサブカルチャーを活用したまちづくりを行う。
- ・宅地への転用時に、環境共生型開発事業などの自然を盛り込むモデル事業を行う。
- ・公共施設や民間施設（競馬場など）を利用して、市民がまちづくりについて語り触れ合える機会に協力する。

### 【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・勉強会への講師や職員の派遣、会議室等の施設の提供などの支援。
- ・情報を市の内外に広く発信する。
- ・他の行政機関及び企業との連携を推進する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市の情報を発信していくことで、魅力を伝えていく。</li> <li>・交通拠点（駅、バス停、交差点）、観光資産、商業施設のネットワーク化を図り、サイン表示を充実させる。また、主要駅間の商業的ネットワーク化を誘導する。</li> <li>・市の各部署が、市の魅力を創出するための事業を検討する。</li> <li>・魅力的なカフェなど、人が自然と集う施設を積極的に誘致する。</li> <li>・府中にゆかりのある顕著な人物（浦沢直樹氏など）と協力し、漫画、アニメ、小説などのサブカルチャーを活用したまちづくりを進める。</li> <li>・宅地への転用時に、環境共生型開発事業などの自然を盛り込むモデル事業を誘導する。</li> <li>・公共施設や民間施設（競馬場など）を利用し、市民がまちづくりについて語り触れ合える機会を整える。</li> <li>・狭あい道路などでは、一定の住戸での集団のごみ置場を確保し、集約化を進める。</li> </ul>	
<b>その他 提案事項</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・くらやみ祭りなどの地域のイベントに、新しく住み始めた市民が参加しづらい。</li> <li>・市内ではなく、市外に対してイベントを開催し、府中の魅力をアピールする。</li> </ul>	
<b>事務局への連絡事項</b>	特になし

<b>基本目標</b>	Ⅳ にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	4 公共交通の利便性の向上
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<p>◆市内移動の利便性を高めるだけでなく、市外の駅、商業施設へのネットワーク化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供から高齢者まで全ての世代の人にとって、また男性にとっても女性にとっても、交通の利便性がよい。</li> <li>・市内の交通だけではなく、市の内外をつなぐ交通の利便性もよい。</li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<p>○観光の手段としての交通整備不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設を周るような交通ネットワークを創設する。</li> </ul> <p>○交通の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゅうバスの運行時間の短さ及び将来の行政の財政負担増加を考慮し、ちゅうバス路線の民間路線バス化が必要である。</li> <li>・交通の案内表示の多言語化が不十分である。</li> <li>・市内だけでなく、周辺地域のコミュニティバスとの相互乗り入れの検討。</li> <li>・駅前広場、バス停周辺のバリアフリー化の推進。</li> <li>・鉄道、バス、タクシー業者（以下、「交通事業者」という。）と行政の連携。</li> </ul>	

<b>役割分担の考え方</b>	
<b>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通公共負荷の低減を認識し、個人の移動手段を見直す。(車からの自転車、自転車からの徒歩、時間差通勤など)</li> <li>・ 市民同士、企業及び行政との継続的な連携を図る。</li> <li>・ 公共交通機関を積極的に利用する。</li> </ul>	
<b>【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通施設、通路等の整備、バス路線の経路等について、交通事業者、企業との連携を推進する。</li> <li>・ 利便性の向上だけではなく、観光等、様々な目的からの交通施策を考える。</li> <li>・ コミュニティバスについて、協働の手法などを検討し、民間への役割の転換も検討していく。</li> </ul>	
<b>その他 提案事項</b>	
特になし	
<b>事務局への連絡事項</b>	・ 府中市及び他市のコミュニティバスの収支及び乗車率について教えてほしい。

<b>基本目標</b>	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	5 道路等の整備
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境に考慮した道路の整備及び保全</li> <li>◆交通量に応じた、適切な道路計画の検討と整備</li> <li>◆交通に支障となる、工作物(電柱、標識等)の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電線類の地中化や移設が進められ、標識の形態が整備されています。</li> </ul> </li> <li>◆自然環境に配慮した、道路の構造検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜並木などの自然環境に配慮した道路となっています。</li> </ul> </li> <li>◆全ての人が安全に通行できる道路 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路や歩道が適切に維持管理され、安全に通行することができます。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境及び景観を配慮した道路の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみの戸別収集により、道路上にごみがあふれる景観となってしまった。</li> <li>・ 雨水処理について、汚水との分流化が不十分であり、雨天時に多摩川が汚染されているため、下水道事業において、汚水と雨水を完全に分流するべきである。</li> <li>・ 頻発する集中豪雨による、急激な河川(多摩川)の水位上昇がたびたびあり、洪水災害のおそ</li> </ul> </li> </ul>	

<p>れがあるため、道路及び宅地において雨水浸透設備の設置を推進などの対策を講じるべきである。</p> <p>○交通の安全性の確保の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者と自転車の分離が不十分である。</li> <li>・観光と含めた道路の整備が不十分である。</li> <li>・通行者の安全性を確保するため、適切な道路の維持管理を行っていく必要がある。</li> </ul>	
<p><b>役割分担の考え方</b></p>	
<p><b>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が安全に利用できるよう、利用の仕方を考慮する。</li> <li>・市民同士、企業及び行政の継続的連携を行う。</li> <li>・道路の落ち葉掃除やごみ拾いなど、地域での清掃活動を行う。</li> </ul>	
<p><b>【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、企業及び隣接する行政との連携を図った整備及び保全を進める。</li> <li>・ごみの集積所などを確保する。</li> <li>・適切な道路の維持管理を行う。</li> </ul>	
<p><b>その他 提案事項</b></p>	
<p>特になし</p>	
<p><b>事務局への連絡事項</b></p>	<p>特になし</p>

<p><b>基本目標</b></p>	<p>Ⅳ にぎわいと魅力のあるまちづくり</p>
<p><b>基本施策</b></p>	<p>6 地域の情報化の推進</p>
<p><b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時でも、迅速で正確な情報伝達手段が確保されるまち。</li> <li>◆地域単位（自治会、文化センター圏域）のフレッシュで詳細な情報を各施設で情報が提供されているまち。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政の広報だけではなく、自治会等が行う祭りなどの活動内容が分かるようなネットワークが構築されている。</li> </ul> </li> <li>◆時代に即した、複数の情報伝達手段が確保されているまち。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・TV、ラジオ、インターネットなど様々な手段から情報を得ることができている。</li> </ul> </li> <li>◆情報伝達及び収集の手段に格差のないまち（情報リテラシーの解消） <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達手段が進歩しても、市民の一人ひとりが情報を共有できている。</li> </ul> </li> </ul>	



<b>主な課題</b>	
<p>○情報セキュリティの維持・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備え、行政情報のバックアップの範囲を拡大する。</li> <li>・市の行政情報のバックアップ対策が計画に記載されていない。</li> <li>・他の行政機関や団体等に情報を提供する際のセキュリティ対策を考える必要がある。</li> </ul> <p>○時代に合わせた電子自治体の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市と関わる諸手続きについての、電子化が不十分である。(転入・転出届出等の申請等)</li> <li>・情報のシステムを、時代に合わせた手法にその都度導入する仕組が整備できていない。</li> <li>・市内一律でない、地域ごとの詳細な情報の収集が困難である。</li> </ul> <p>○災害時を考慮した情報システム基盤と運用システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時などに、自分の地域の情報を得ることが困難である。</li> <li>・防災無線の音量の大小が地域により大きくバラついている。(全く聞こえない箇所あり)</li> </ul> <p>○情報化に伴う弊害への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化に伴い、人と人とのコミュニケーションが減少している。</li> <li>・情報の収集能力に差が出てきている。</li> </ul>	
<b>役割分担の考え方</b>	
<p><b>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティが積極的に情報を発信する。</li> <li>・学校や団体などとの連携を強化する。</li> <li>・自治会の情報について市のホームページをポータルサイトとして集約し、情報を発信する。</li> <li>・自治会などの情報を発信する。</li> </ul>	
<p><b>【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と協力し、積極的な情報発信を行う。</li> <li>・コミュニティの形成の場として、インターネット等を通じた新たな場を構築する。</li> <li>・災害を考慮した情報発信手段を複数擁立する。</li> <li>・広報、ツイッター等の活用方法を工夫し、情報リテラシーの差を考慮した情報発信を行う。</li> <li>・全ての行政情報の重要なものについて、安全な場所にバックアップを取る。</li> <li>・広報からSNSへの転換などを推進する。</li> <li>・自治会などの情報発信について市が支援する。</li> <li>・文化センター単位など、新たな地域ごとの情報提供手段を検討する。</li> <li>・災害時に臨時FM局を開設し、地域の情報を発信する。</li> <li>・インターネットなどを使えない人を考慮した情報発信も行う。</li> </ul>	
<b>その他 提案事項</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の配布は、新聞の折り込みを前提としてきたが、新聞の配布戸数の減少に伴い十分に市民に行き渡っていないため、戸別配布などの手段を検討する必要がある。</li> </ul>	
<b>事務局への連絡事項</b>	特になし

<b>基本目標</b>	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	7 商工業の振興
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<p>◆観光資源を無駄なく活用できるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業、文化、歴史、自然などの観光資源が活用され、市民と観光客が集まりにぎわっている。</li> </ul> <p>◆充実した買い物ができるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で、生活に必要なサービスをすべて購入できる。</li> <li>・市外から買い物に来るような魅力がある。</li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<p>○観光を活かした商業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設の情報周知が不足している。</li> <li>・公共の観光施設同士のきめ細やかな連携がとれていない。</li> <li>・市外の人が魅力を感じる文化の活用が不十分である。</li> </ul> <p>○市内における商業満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市内だけでの買い物の完結が困難である。</li> <li>・市内でお金が循環する仕組みが築けていない。</li> <li>・生活に必要な店が、地域ごとに集約していない。</li> <li>・買い物をしづらい環境がある。</li> </ul> <p>○行政と民間との協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な施設と商業の連携が不足している。</li> <li>・市の取組みや制度の周知が不十分である。</li> <li>・市と商店の連携の推進が不足している。</li> </ul> <p>○他市からも魅力のある商店の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の誘致を行ったが、あまりにぎわいの創出につながらなかった例がある。</li> <li>・他市区との差別化が不十分である。</li> <li>・若い世代が、商業についてチャレンジする場所が不足している。</li> <li>・他市区から人が集う店舗が不足している。</li> <li>・地域ごとの魅力の活用が不足している。</li> <li>・地域をつなぐにぎわいが不足している。</li> <li>・大規模な店舗と小規模な店舗の連携が不十分である。</li> </ul>	
<b>役割分担の考え方</b>	
<p><b>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業の振興に対する意識を高め、積極的な取組みを行う。</li> <li>・市内外の観光資源や団体との連動に努める。</li> </ul>	

- ・ イベントの開催やパンフレットの作成等は個別に行うのではなく、市民同士や行政と連携し、一つにまとめて大きな魅力として発信を行う。
- ・ 府中にゆかりのある顕著な人物（浦沢直樹氏など）と協力し、漫画、小説、音楽などのポップカルチャーを活用した様々なイベントを実施する。
- ・ 吉祥寺や中野など他市区を参考に、府中市の独自性を活かした多様な店を集める。
- ・ 大規模な土地への商業施設の誘致及び展開を行う。
- ・ 商業施設内における、育児施設の充実などのバリアフリー化を進める。
- ・ 世代間の仲を深めるためのイベントや、商店を使ったまちコンなどを開催し、まちに人を集める。
- ・ 商工会議所が市と話し合う機会を増やす。
- ・ ケーキを食べられるカフェなどを充実させる。
- ・ 旧甲州街道周辺や宮西町周辺地区などに、特区制度を活用したまちづくりを展開する。
- ・ 府中一府中本町間、府中一分倍河原間など、地理的につながりのある地域の間で、商業を活性化させていく。
- ・ 大規模な店舗による魅力と、高円寺の商店街のような小規模店舗の集まりによる魅力の連携を図る。

**【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと**

- ・ 市や商店の情報を広く発信する。
- ・ 行政と民間の連携を進める。
- ・ イベントの開催やパンフレットの作成等は、個別に行うのではなく一つにまとめて大きな魅力の発信を行う。
- ・ 府中にゆかりのある顕著な人物（浦沢直樹氏など）と協力した、漫画、小説、音楽などのポップカルチャーを活用したイベントを開催及び支援する。
- ・ 近隣市で行っていた新撰組を活用したイベントのように、市全体での大きな事業を行う。
- ・ 大規模な土地に商業施設を誘致する。
- ・ 公共施設への商業施設を取入れや、歩行者天国での大規模なイベントなどを行う。
- ・ 世代間の仲を深めるためのイベントや、商店を使ったまちコンなど、商店が企画をしたイベントに対して、広報等を通じて積極的に支援する。
- ・ 市に利益をもたらす施設を考えて誘致する。
- ・ 旧甲州街道周辺や宮西町周辺地区などで、特区制度を活用したまちづくりを行う。
- ・ 府中一府中本町間、府中一分倍河原間など、地理的につながりのある地域の間で、商業が活性化するように支援を行う。

**その他 提案事項**

特になし

**事務局への連絡事項**

当日配布されたアンケート結果なども考慮して話したいため、参考資料を事前に送付してほしい。

<b>基本目標</b>	Ⅳ にぎわいと魅力のあるまちづくり
<b>基本施策</b>	8 都市農業の育成
<b>めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆他市に誇れる府中の農業の確立</li> <li>◆有効な農地の利用ができているまち</li> <li>◆近隣市と連携した農業施策を展開しているまち</li> <li>◆地域住民（三世代）、企業、農業系学校施設及び行政が連携し都市農業を育むまち</li> <li>◆次の世代に優れた都市農業を引き継ぐまち</li> </ul>	
<b>主な課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の農産物流通の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で作られた農産物の流通が不十分である。</li> <li>・府中名産の特産物がない。(稲城市の梨など)</li> </ul> </li> <li>○農作物を扱う施設の利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物を売る施設の営業時間や定休日の条件から、利用がしづらい。</li> <li>・農作物を扱う施設が各々分散している。</li> </ul> </li> <li>○学校と市の連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の新製品の開発の取組みについて、学校などの公益施設との協力が不足している。</li> </ul> </li> <li>○使われていない農地の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民農園の需要に対し、供給が不足している。</li> </ul> </li> <li>○農地と農業の保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農業が縮小している。</li> <li>・後継者が不足している一方で、農業をやりたい人が農業を行えていない状況である。</li> <li>・地方より土地高く、都市部で農業を行うメリットが不足している。</li> <li>・農業振興計画や前回の提言書の課題として、農地が減少しており、後継者が不足している。</li> <li>・農業関係の施設の規模が小さい。</li> </ul> </li> <li>○農業とふれあう機会の拡充と担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に対する個人の興味が不足している。</li> <li>・将来の担い手となる子供の、農業への興味が不足している。</li> <li>・市民農園の利用者に放置されている土地がある。</li> </ul> </li> <li>○農産物の流通拡大とブランドの確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業における商売力が不足している。</li> <li>・市の特産物のブランド力が不足している。</li> <li>・直売店の場所や営業日などの情報を周知する。</li> </ul> </li> </ul>	

## 役割分担の考え方

### 【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

- ・ 大学や高校の取組みに市が補助をし、連携した取組みを推進する必要がある。
- ・ 意識を高め、市民一人ひとりが農業に携わるようにする。
- ・ 学校や団体などとの連携を強化する。
- ・ 農業（農産物、土とのふれあい）に興味をもつ。
- ・ 市の特産品などの市の生産物を買う。
- ・ 子供に農業への教育を行う。
- ・ 梨や小松菜など、市内で作られた作物の情報を発信する。
- ・ 他団体と協力し、道の駅への参加など、大規模な農業に対する取組みを行う。
- ・ 積極的に農業のレクチャーなどができる体制を整える。
- ・ 大規模土地の農業への利用を考え、他市と併せて農業関係施設を集約させる。
- ・ 府中の野菜を使った料理教室の開催など、府中の特産品を知る機会をつくる。
- ・ 料理の工夫で子供の野菜嫌いを改善するなど、農業に対する関心を高める。
- ・ 小学校等での子どもの農業体験に協力する。
- ・ 国立市の事例などを参考に、市民農園の管理人として、放置箇所管理や農業に関するノウハウを提供する。
- ・ 市民が自ら市内で買い物をするようにする。
- ・ 生産者の情報開示など、安全性をアピールする。
- ・ 個々に保有している技術や資産を共有する。

### 【行政の役割】自分たちの取組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・ 市民と協力し、積極的な情報発信を行う。
- ・ 市民が農業に関わることができる場をつくる。
- ・ 農地の保全のため、農地を買う、借りるなどを行い、場所の提供を行う。
- ・ 特産品や直売所について情報提供を行う。
- ・ 梨や小松菜など、市内で作られた作物の情報を発信する。
- ・ 他団体と協力し、道の駅への参加など、大規模な農業に対する取組みを支援する。
- ・ 利用されていない農地の市民農園としての利用拡大を検討する。
- ・ 農地は、震災時等に有効な避難場所ともなるため、防災上の観点からも保全していく。
- ・ 高齢で農業ができない農地を市が借上げ、希望者に貸農園として提供する。
- ・ 教育カリキュラムの一環として、農業を取り入れ、市の特色とする。
- ・ 大規模土地の農業への利用を考え、他市と併せて農業関係施設の集約を誘導する。
- ・ 子供に農業を体験させる教育を小学校などで行う。
- ・ 経営指導やノウハウの提供を通じて、ブランド化を目指す農家を支援する。
- ・ 東京農工大学、都立農業高校と連携した特産物のブランド化への取組みを進める。
- ・ 練馬大根などのような、都市農業の魅力を活かしたアピールへとつなげていく。
- ・ 大学や高校の取組みに市が補助をし、市の農業政策との連動を図る。

### その他 提案事項

- ・ 府中基地跡地を市民農園に活用する。
- ・ 話し合いの場に産業（農家など）に携わっている方を入れて検討したほうがよい。
- ・ 府中市単独ではなく、他市でも同様の問題があるため、連携して広域的な農業施策を展開する。

<p>(道の駅のように、近隣市と一体となって“農の駅”のような場をつくる。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・都心に住む方が府中に農業をするために利用できる場所を作る。</li></ul>	
<b>事務局への連絡事項</b>	特になし